

議会だより



教育委員会が主催するチャレンジスポーツ「スキー・スノーボード教室」「幼児親子スキー教室」が1月中旬の4日間、函館七飯スノーパークで開催されました。

鹿部スキー協会の指導の下、32人の参加者が上達に向けて技術を習得しました。

第96号の掲載内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ○第4回定例会の概要……………2P～3P | ○質問の追跡調査……………3P |
| ○一般質問……………4P | ○議員全員協議会の概要……………5P |
| ○議員研修会……………5P | ○議員行政視察……………5P |
| ○委員会の活動……………6P～7P | ○会議の出席状況・議会の行事……………8P |

発行／鹿部町議会 編集／議会運営委員会 委員長 吉 英樹 副委員長 川村 裕司
委員 船橋 敦子 委員 高橋 茂夫

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字鹿部 252-1

TEL 01372-7-5296 (直通) FAX 01372-7-3086

~令和5年第4回定例会~

令和5年第4回定例会は、12月7日に招集され、会期を12月8日までの2日間と決め、1人の議員が一般質問を行いました。

また、今期定例会では、条例3件、補正予算5件、その他議案2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

なお、審議された議案等の主な内容は、次のとおりです。

条例

◆鹿部町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆鹿部町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
人事院勧告に基づき、一般職の給料表を1.1%引き上げ、期末勤勉手当の支給率を100分の10引き上げる改正等と一般職の期末勤勉手当改正に伴い、特別職の期末手当も同様に100分の10引き上げるものです。



◆鹿部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律及び同法律の一部を改正する法律に伴

う関係政令の整備に関する政令が公布されたことに伴い、本条例の一部を改正したものです。

改正内容は、国民健康保険に加入する出産被保険者に係る基礎課税額の所得割額及び均等割額を産前産後の期間中、世帯の所得区分に応じて減額するものです。

補正予算

◆令和5年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ2億8686万1千円を追加し、予算総額を46億9788万円としました。

主な内容は、普通交付税の額の確定、ふるさと納税寄附金及びそれに伴う関連費用の追加と人事院勧告による人件費を追加したものです。

●質疑

財政調整基金をはじめとする他の基金の積み立て目標などはあるのか。

●総務・防災課長

財政調整基金を含め、9の基金があり、令和4年度末現在で約22億円の残高が

あります。基金の目標額の設定はしていませんが、総合的な部分で一般会計の予算額に対して3分の2から4分の3の間ぐらいが妥当として、基金管理を行って

●質疑

住民税非課税世帯給付金は今年中に給付するのか。

●副町長

国の補正予算で措置されたもので、今年度中に町の方から給付します。

●質疑

しかべ間歌泉発見100周年記念事業補助金268万6千円は、鹿部町で出すのではなく、指定管理者がやるべきものだと思うが。

●町長

しかべ間歌泉は、本町で管理しているものであり、基本的に100周年記念行事は、町民挙げて1年を通して、賑やかなものなどをPRしていきたいと考えています。

なお、当該事業は実行委員会方式により運営し、その中で負担金など皆さんに協力していただきながら実施して参りたいと考えています。

◆令和5年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について
歳入歳出それぞれ3929万5千円を追加し、予算総額を7億9645万1千円としました。

主な内容は、決算剰余金の確定に伴う一般会計への繰入金金の追加、保険基金安定繰入金の確定に伴う繰入金金の減額などです。

◆質疑
国保税の渡島管内での状況と基金の積立目標額は。

◆民生課長
令和4年度の管内状況として、本町は高い方から3番目です。
基金については、令和6年度に北海道への納付金の計算方法が変わり、若干上がる予想をしていますので、それに合わせ、基金を取り崩し、国保加入者の負担軽減を図れるよう検討しているところですが。

◆令和5年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について
保険事業勘定分の歳入歳出それぞれ693万5千円を追加し、予算総額を4億7014万2千円としました。

内容は、令和6年4月の制度改正に伴う介護保険システム改修業務委託料の追加、介護給付の増加に伴う介護サービス等給付費、特定入所者介護サービス費及び審査支払手数料の追加、過年度分の地域支援事業交付金の確定に伴う償還金を追加したものです。

◆質疑
居宅、施設等のサービス給付費の増額理由は。

◆副町長
訪問介護にて、昨年度と比較し、月平均5名ほど増えている状況と、コロナ禍により休止していた地域密着型通所介護事業が、今年度から再開したことにより不足額を補正するものです。

万5千円を追加し、予算総額を7144万3千円としました。
内容は、広域連合納付金の額の確定に伴い、当該費用を追加したものです。

◆令和5年度鹿部町簡易水道事業会計補正予算について
収益的支出に232万7千円を追加し、収益的支出の総額を1億116万1千円としました。

内容は、一般会計同様に人事院勧告による手当等を追加したものです。

その他

◆定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について
変更内容は、1つ目として、医療分野における取組理由の「医療提供体制の維持を図るため」という文言を「医療提供体制を確保するため」に変更。

2つ目は、教育に関する事業の推進において、圏域内の文化・スポーツ施設の相互利用をはじめとした各

種事業の取り組みを追加。
3つ目は、圏域住民の消費生活の安定及び向上を図るため、函館市消費生活センターで実施する相談対応等の事項を追加するものです。

◆人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
令和6年6月30日をもって法務大臣からの委嘱期間が満了となる滝野幸子氏(字宮浜38番地1)について、満場一致で適任として答申しました。

諮問

質問の追跡調査

●排水処理方針の策定について
(令和5年第3回定例会)
高橋 茂夫議員

■質問・答弁・取組状況

質問

町全体の排水処理方針を早急に決定し、特に合併浄化槽の設置を促進するための支援の検討が急がれていると思いますが。

答弁

令和5年度中には、近隣自治体の情報収集や庁内関係課との調整を図り、令和6年度には議員皆様はじめ

町民皆様のご理解をいただきながら、方針決定して参りたいと考えております。

取組状況

○令和5年11月現在
関係課による生活排水処理対策会議を2回開催し、近隣自治体の状況や町の方針(案)、具体的な施策について、検討・協議をしております。

また、北海道と交付金事業に関する事前打ち合わせを行い、交付金の活用に向けて精査しています。



定例会・質問の追跡調査





高橋 茂夫 議員

森林環境譲与税の活用状況等について

世界的な環境破壊で、地球温暖化が進んでおりますが、鹿部町には先人が残してくれた豊かな森林があります。

その豊かな森林を守り育てるためには、除間伐等を計画的に実行していく必要があると考えます。

そこで、令和元年度から始まった森林環境譲与税のこれまでの譲与税額の実態と活用状況、そして、今後の活用についての町の考え方を伺います。

■質問と答弁の要約

Q. 1 森林環境税及び森林環境譲与税について。

A. 1 森林環境税は、森林整備に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、平成31年3月に創設され、令和

6年度から国内に住所を有する個人に対し課税される

国税であり、市町村において、個人住民税均等割と併せて、年額1千円が課税されるのに対して、森林環境譲与税は、森林環境税の収入額に相当する額から定められた譲与基準により都道府県及び市町村に譲与されるものです。

交付額は、後年度の森林環境税の税収を先行して充てるという考えのもと、暫定的に譲与税特別会計を設け、借り入れにより対応していることから、市町村の体制整備の進捗に伴い、徐々に増加するよう設定され、令和6年度以降、満額交付される予定です。

また、当該財源の活用にあたっては、都道府県及び市町村が、それぞれの地域の実情に応じて、森林整備

及びその促進に関する事業を幅広く弾力的に活用するものとなっておりますが、総務省から、近年、基金への積立割合が多いとの指摘もあり、森林環境譲与税自体の必要性に関する議論が起ることも想定されることなどから、積極的に活用するよう要請があります。

Q. 2 本町の譲与税額とその活用内容について。

A. 2 令和元年度は、224万

5千円の交付を受け、翌令和2年度から4年計画で実施するための森林所有者意向調査の事前準備資料作成のためのシステム改良費85万8千円を支出、残額の138万7千円を基金積立。

令和2年度は、477万2千円の交付を受け、当該年度から開始の森林所有者意向調査費用として、195万8千円を支出、残額の281万4千円を基金積立。

令和3年度は、450万3千円の交付を受け、森林所有者意向調査費用として、63万8千円の支出、また、総務省からの要請に応えたかたちで、ただちに活用で

きる木材の利用促進及び普及啓発事業として、ひょうたん沼公園へ道産材を使用した木製のベンチ等の設置を5年計画で実施することとし、その1年目の費用が40万7千円となり、残額の345万8千円を基金積立。

令和4年度は、582万6千円の交付を受け、前年度同様に森林所有者意向調査費用として、70万4千円を支出、また、経営計画の見直しや策定等に必要である地域林政アドバイザーの派遣業務委託料として、50万6千円を支出、そして、

2年目となる木材の利用促進及び普及啓発事業費用として、199万1千円を支出し、残額の262万5千円を基金へ積み立てました。

よって、譲与税交付金額合計1734万6千円に対し、支出済額の合計が706万2千円、残額の1028万4千円が基金として積み立てられている状況です。

Q. 3 今後の活用について。

A. 3 令和2年度から実施している意向調査が、今年度で終了となりますので、当該

意向調査等の結果に基づき、森林経営計画等の見直しを令和6年度中には行い、適切な経営管理が行われていない森林については、適正な樹齢等による間伐や枝打ち等の森林施策が実施されるよう、個人負担の上乗せ補助など、森林施策が実施しやすくするような施策を講じるとともに、併せて森林整備を担うべき人材の育成及び確保のため、林業関連の研修、資格取得経費及び設備導入費用の支援についても早急に協議・検討して参りたいと考えています。

Q. 4 ゼロカーボンについて、町民に具体的、身近なものとして、植林(樹)に取り組む考えは。

A. 4 ゼロカーボンの町民意識の醸成のためには、何がいいのか、協議・検討して参りたいと思っておりますので、町民総ぐるみで植林事業も大変有効と思うところですが、

また、他にも意識の醸成になるような施策など今後とも協議して参りたいと思っております。

議員全員協議会

令和5年第7回議員全員協議会

開催年月日

令和5年10月17日

議題

○ 協議の映像配信について
町民に開かれた議会を実現するため、令和5年第4回定例会（12月）から本会議の様子をオンライン動画共有サイト「YouTube（ユーチューブ）」でライブ配信と録画配信を行うことを協議しました。

○ 鹿部町議会ユーチューブチャンネル



https://www.youtube.com/@hokkaido_shikabetown_gikai

※注意

リンク先は、鹿部町のホームページではありません。

鹿部町議会がユーチューブのサイト上に開設したチャンネルになります。

議員研修会

昨年10月16日、渡島・檜山町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

今年、朝日新聞社東京支社ネットワーク報道本部次長の三島あずさ氏と北海道経済部資源エネルギー局長兼ゼロカーボン推進局長力担当局長の西岡孝一郎氏を講師に招き、「地方議会とハラスメント」、「ゼロカーボン北海道について」と題して講演をいただきました。また、午前中に鹿部町議会議員研修会を函館水産試験場で実施し、「渡島東部海況及び水産資源（すけそ）う・昆布・ほたて」の動向について」の研修を行いました。



函館水産試験場での研修

議員行政視察

昨年10月24日及び25日に行政視察を行いました。

高知県梛原（ゆすはら）町では、移住・定住対策について、①移住・定住施策の設定やその構築の流れ、②各施策補助金等の活用状況、③移住・定住促進住宅、④移住・定住コーディネート、⑤子育て世帯の移住・定住施策などを、また、高知県中土佐（なかとさ）町では、南海トラフ地震対策について、①津波避難タワー施設、②地震対策を推進するための施策、③避難訓練の実施内容などに重点を置き実施しました。

■高知県梛原町

空き家を地域資源としてとらえ、移住者がすぐに住める住宅を用意し、加えて専任の移住定住コーディネーターが相談窓口となり対応をすることで、相談者はストレスなくまちの魅力を吸収することができていました。

また、移住支援策などの充実や移住者の受け入れ体制が整備されていることが、

移住促進につながり、更には集落や区長など地域ぐるみで移住者を受け入れ、子育てをする風土があると感じられました。



移住・定住者の交流の場の一つである「雲の上の図書館」

地域資源の積極的な活用は、空き家だけではなく自然エネルギーの活用、森林資源の循環利用、町産材やエネルギーの積極的利用などにも広がり、子育て支援や医療福祉支援などあらゆる施策が円滑に機能していました。

■高知県中土佐町

土佐湾に面し海の恵みを受けて発展してきましたが、それは、本町と同様に、自然との闘いの歴史でもありません。

避けることができない津波などの自然災害を軽減さ

せるため、あらゆる手段を講じて防災という概念を日常生活にしっかりと取り入れることとし、令和3年2月に「防災テーマパーク宣言」を行い、「日常の中で楽しみながら防災を学ぶ」をコンセプトに、これまで防災学習や避難訓練に参加することがなかった人が「防災」に触れる機会を創出し、町の防災意識の裾野を拡げる事業を展開してまいりました。



景観にも配慮した津波避難タワー

両町の取り組みは、参考になる事例が多く、非常に有意義な行政視察となり、予定していました所期の目的は十分に達成されたと感じています。

今後これらの成果を町政に反映し、鹿部町の発展のために尽力して参ります。

鹿部町議会だより

総務経済常任委員会 所管事務調査

◇調査年月日

令和5年11月10日

◇調査事項

鹿部公園、ひょうたん沼公園等の現地視察について

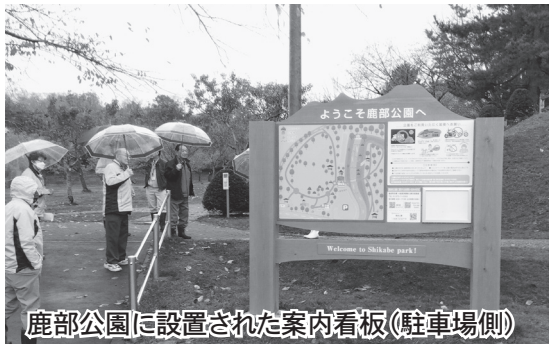
◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、現地視察及び調査を実施した。

◇調査の結果

○鹿部公園

鹿部公園の広さは、4万8794㎡あり、平成2年



鹿部公園に設置された案内看板(駐車場側)

に開園し、昭和62年度から平成元年度までの3か年計画により整備され、総工事費2億6171万円うち北海道より補助金9700万円を受けている。



鹿部公園に設置された案内看板(公園側)

公園の入込数として、過去5年間の平均では1万4372人であり、令和4年度では1万2130人の入込数があった。

また、公園内には遊具類やトイレなどが設置され、樹木や草花が植えられ、公園の管理保全業務は委託により行われている。

なお、公園内に点在していた看板を1か所に集約し、景観のみならず利用者にも配慮した看板を令和5年度

に設置した。

○ひょうたん沼公園

ひょうたん沼公園の広さは、4万9000㎡あり、平成13年に開園し、平成8年度から平成12年度までの5か年計画により整備され、総工事費3億700万2千円うち国より補助金1億6千万円を受けている。

公園の入込数として、過去5年間の平均では3967人であり、令和4年度では4964人の入込数があった。



ひょうたん沼園に新たに設置された遊具

また、公園内にはトイレなどが設置され、樹木や草花が植えられ、公園の管理保全業務は委託により行わ

れている。



ひょうたん沼園に新たに設置された遊具

なお、公園内の遊具を令和4年度から令和7年度までの5か年計画により、星座の形にした平均台を順次整備している。

○せせらぎ散歩道

せせらぎ散歩道は、幅員が場所によって異なるが、1.5mから2.5m程度となり、全長で1768mとなっている。

また、せせらぎ散歩道の草刈を、年に2回、6000㎡実施し、せせらぎ散歩道の護岸沿いのナナカマドやバンクスマツなど、年に1回、約1300㎡を剪定している。

なお、外灯、木柵などは状況に応じ補修を実施しているが、転落防止柵の木材が腐食により亀裂や欠損などが生じ、機能が著しく低下しているため、令和4年度から令和8年度までの5か年計画により、更新を進めている。

◇調査意見等

各公園での収容能力を考えた場合、更なる集客対策が必要であり、認知度の低さも要因の一つであると思われることから、積極的なPRなどを行うことを期待するものである。

なお、近年、自然・社会環境の変化に伴い、全国的にクマ類の生息域が拡大し、本町においても同様に生活圏域でのヒグマの出没情報があるため、公園利用者の安全の配慮を含め、健全な公園管理に努めていただくことを望むものである。

また、せせらぎ散歩道では、施設の利用優先度に配慮し、安全面を重視した点検や維持管理、維持補修を実施し、景観面、利用面の向上に努めていただくことを望むものである。

民生文教常任委員会 所管事務調査

◇調査年月日

令和5年11月13日

◇調査事項

小中学校の諸課題等について

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、調査を実施した。

◇調査の結果

○学校における主な諸課題

一般的には、次の事柄が学校における主な諸課題として挙げられ、本町ではすべての事柄に該当はしないものの、不登校児童生徒の数は年々増加し、いじめも毎年数件確認されている。

また、教員の長時間労働も少なからずあり、解消に向けた働き方改革にも取り組んでいる。

1 児童生徒の諸課題

校内暴力、不良行為、不登校、いじめ、学級崩壊など

2 教員の諸課題

わいせつ行為、ハラスメント行為、体罰、飲酒運転や悪質な交通違反、長時間労働など

3 家庭の諸課題

家庭内暴力、児童虐待、育児放棄、ヤングケアラー、モンスターペアレントなど

○諸課題への対応

1 不登校

不登校とは、当該年度の間30日以上欠席し、「何らかの心理的、情緒的、身体的な理由などにより、登校しない、あるいはしたくてもできない」状況の児童生徒を言うが、本町では未然防止、初期対応（早期発見・早期対応）、社会的自立に向けた支援、登校に向けた取り組みや学校以外の居場所づくりを行っている。

2 いじめ

いじめは、どの学校・どの学級・どの子にも起こり得るものであるという基本認識に立ち、いじめを生まない学校づくりに取り組んでいる。

また、学校ではいじめが起きにくい、いじめを

許さない環境づくりのため、学校教育活動全体を通じた包括的な取り組みと早期に見つけることが早期の解決につながる。ことから、日頃より教員と子ども達との間で、信頼関係の構築に努めることを大切にしている。

なお、いじめの事案対処には、迅速性が求められることから、的確な対処の判断に至る機能を維持しつつ、機動的で柔軟な組織で対応している。

○教員の働き方改革

教員の身体的・精神的負担を軽減するため、超過勤務時間の縮減と業務の分担化、効率化に向けた取り組みを行っている。

◇調査意見等

現在、本町では比較的平穏な状況にあるが、子どもたちを取り巻く環境は日々変化しているため、今後、いつ、どのようなきっかけで、事案が生じる場合もあり得ることから、あらゆる方面において、未然防止の取り組みを押し進めていくことを強く望むものである。

議会を傍聴（視聴）してみませんか

～次回定例会は3月上旬に開催予定～

傍聴の手続きは、傍聴席の入口設置の傍聴人受付票に、住所・氏名などを記入するだけです。役場1階多目的スペースに設置の大型テレビでも視聴することができます。

また、鹿部町議会では、町民に開かれた議会を実現するため、本会議の様子をオンライン動画共有サイト「YouTube」でライブ配信と録画配信を行っています。

※本誌5ページ「QRコード・URL」をご確認ください。

ライブ配信等の詳細については、鹿部町公式ホームページをご覧ください。

令和5年11月～令和6年1月 本会議、各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席(病欠含む)、△は遅刻・早退、―は該当なし)

会 議	佐藤 頼幸	千葉 光義	三谷百十樹	川村 裕司	吉 英樹	中川 一	船橋 敦子	高橋 茂夫	浦 梅吉
総務経済常任委員会所管事務調査 (11/10)	―	○	―	―	○	○	○	―	○
民生文教常任委員会所管事務調査 (11/13)	○	―	○	○	―	○	―	○	―
議会運営委員会 (12/4)	―	―	―	○	○	○	○	○	―
令和5年第4回定例会 (12/7)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務経済常任委員会 (12/7)	―	○	―	―	○	○	○	―	○
民生文教常任委員会 (12/7)	○	―	○	○	―	○	―	○	―
議会運営委員会 (議会だより編集 1/19)	―	―	―	○	○	○	○	○	―

議会の行事

11月

- 10日 総務経済常任委員会所管事務調査
(全委員及び議長)
- 13日 民生文教常任委員会所管事務調査
(全委員)
- 21日 令和5年度第1回鹿部町表彰審議会
(議長及び関係議員)
- 26日 森町汚泥再生処理センター落成式
(議長)
- 28日 渡島町村議会議長会行政視察 (議長)
南渡島消防事務組合第3回議会定例会
(関係議員)
- 29日 町村議会議長全国大会 (議長)

12月

- 4日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 7日 令和5年度鹿部町町政功労者表彰式
(全議員)

- 7日 第4回定例会 (全議員)
総務経済常任委員会(全委員及び議長)
民生文教常任委員会 (全委員)
- 25日 渡島福社会理事会 (議長)

1月

- 2日 鹿部消防出初式※津波警報により中止
(全議員)
- 5日 七飯消防出初式 (関係議員及び議長)
- 8日 北斗消防出初式 (関係議員及び議長)
- 16日 渡島町村議会議長会役員会 (議長)
- 19日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 25日 渡島町村議会議長会定期総会 (議長)
- 26日 令和5年度町内会長交流会 (議長)
- 29日 渡島廃棄物処理広域連合第1回議会定例会
(関係議員)